

# 令和2年度 事業報告

## I. 修学支援事業

### 1. 奨学生の採用

#### ①令和2年度奨学生採用

採用計画57名に対して58名を採用しました。

区分	期首在籍				令和2年度採用				期中在籍			
	学部	修士	博士	合計	学部	修士	博士	合計	学部	修士	博士	合計
計画	58	35	0	93	23	31	3	57	81	66	3	150
実績	58	34	0	92	25	30	3	58	83	64	3	150
差異	0	△1	0	△1	2	△1	0	1	2	△2	0	0

\* 予約大学院11名(修士8名、博士3名)、新規47名(学部25名、修士22名)

#### ・一般採用(学部、修士)

選考は新型コロナウイルス感染症を考慮し、面接選考を省略し書類選考で対応しました。

#### ・予約採用(修士、博士)

新たに博士課程に進学する者の採用を本年度より開始しました。

#### ②令和3年度採用の予約大学院生選考

大学院進学後も引続き当会の奨学金を希望した14名(修士10名、博士4名)について、選考委員による選考を11月に行い、採用を内定しました。(令和3年4月正式採用)

### 2. 奨学金の交付

奨学金の給与と貸与の配分を本年度より改定しました。

令和2年度の交付総額は82,718千円です。

区分	交付月額(円)			交付総額(円)		
	給与	貸与	合計	給与	貸与	合計
学部	25,000	17,000	42,000	26,125,000	15,393,000	41,518,000
修士・博士	30,000	20,000	50,000	25,540,000	15,660,000	41,200,000
合計	—	—	—	51,665,000	31,053,000	82,718,000

### 3. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援の実施

- ・特別支援金 7,550千円(151名) ※辞退者1名含む
- ・臨時貸与奨学金 1,350千円(5名)

### 4. 奨学金の貸与及び返還状況

令和2年度の貸与残高は 298,905千円です。

(単位:千円)

年度	貸与額	返還額	免除額	貸与残高	増減
平成28年度	34,560	58,227	504	385,332	△ 24,171
平成29年度	35,967	51,284	0	370,014	△ 15,317
平成30年度	37,075	70,436	816	335,836	△ 34,177
令和元年度	37,515	55,522	630	317,199	△ 17,454
令和2年度	31,053	48,717	630	298,905	△ 18,294

## 5. 会誌「星友」の発行

星友62号を令和2年4月に1,220部発行し、奨学生、卒業奨学生、大学、関係官庁、その他関係先に配布しました。

また、星友62号をデジタルブック化しホームページに掲載しました。

## 6. 新入生歓迎会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新入生歓迎会は中止しましたが、9月に理事長と新規採用奨学生58名とWeb (Zoom) にて面談を行いました。

## 7. 80周年記念交流会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、80周年記念交流会は中止しました。

## 8. 卒業祝賀会

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、卒業祝賀会は中止しましたが、理事長と卒業生49名のWeb (Zoom) による懇親会を行いました。

## 9. 広報

当会のイメージアップと利用者の利便性の向上を図るためホームページのリニューアルを行いました。

## II. 学術教育の支援・助成事業

### 図書の寄贈

当会設立者ゆかりの福岡県下の小学校、高等学校へ図書の寄贈を行ないました。

泉小学校	292 千円
古月小学校	200 千円
育徳館高等学校	299 千円
合 計	791 千円

### Ⅲ. 寄附金の収受状況

(単位:円)

(1)個人寄附金(96名)			
・卒業生	85名	2,255,000	
・一般	11名	502,000	計
			<u>2,757,000</u>
(2)法人寄附金(13法人)			
ニッタイ株式会社		500,000	
大中物産株式会社		1,000,000	
尼崎製罐株式会社		1,000,000	
中山化成株式会社		200,000	
関西鉄工株式会社		200,000	
株式会社関西トラスト		4,000,000	
星光商事株式会社		300,000	
不動恒産株式会社		1,500,000	
株式会社シード		300,000	
関西観光開発株式会社		500,000	
株式会社中山製鋼所		5,000,000	
株式会社サワライズ		4,000,000	
笹田磁気計測研究所株式会社		200,000	
			計
			<u>18,700,000</u>
	合計	96名、13法人	<u>21,457,000</u>

### Ⅳ. 財務の概況

超低金利の金融環境が続く中、当期は事業資金を安定的に確保すべく資産運用の効率化に傾注するとともに寄附金の収受により、113.8百万円の収益を確保することができました。当期の経常費用は114.2百万円となりましたので、評価損益調整前経常収支増減額は、差し引き0.4百万円を計上いたしました。

金融資産の保有構成におきましても、運用益以上の分配を行って基準価額の下落しているJリート投信から仕組債への買替を行い資産の保全を図りました。

また、令和2年3月の新型コロナウイルス感染症に拡大によるコロナショックにより債券相場の急激な悪化が発生し時価額が低下しましたが、上記の投信買替、市場の回復に伴い当期の正味財産は3,841百万円となり、前年度末3,801百万円より40百万円増加しました。

## V. 管理事項の概要

### 1. 役員等に関する事項

#### (1) 理事、監事、評議員

役 職	氏 名	現職等
理 事 長 (常 勤)	中山 景子	
専務理事(非常勤)	宮地 茂雄	(株)関西トラスト社長
理 事 (非常勤)	堀端 孝治	元(株)関西トラスト会長
理 事 (非常勤)	松永 和夫	三菱ふそうトラック・バス(株)会長、元経済産業事務次官
理 事 (非常勤)	神余 隆博	関西学院大学理事、国連・外交統括センター長
理 事 (非常勤)	箱守 一昭	前関西学院大学副学長、元駐ドイツ大使 (株)中山製鋼所社長
監 事 (非常勤)	堀 格	元大泉物流(株)社長
監 事 (非常勤)	小椋 篤	元小椋篤税理士事務所(税理士)
評 議 員 (非常勤)	花木 啓祐	東洋大学情報連携学部教授、東京大学名誉教授
評 議 員 (非常勤)	番匠 敏直	元(株)サワライズ社長
評 議 員 (非常勤)	河窪 博史	大中物産(株)会長
評 議 員 (非常勤)	檜垣 誠次	檜垣・鎌倉・寺廣法律事務所(弁護士)
評 議 員 (非常勤)	白土 雄司	元九州大学大学院・歯学研究院准教授
評 議 員 (非常勤)	出口みどり	エバーグリーン法律事務所代表(弁護士、税理士)
評 議 員 (非常勤)	千川 勝宣	関西観光開発(株) 代表取締役社長

#### (2) 奨学生選考委員

役 職	氏 名	現職等
委 員 長	宮地 茂雄	(株)関西トラスト社長
委 員	難波 功士	関西学院大学社会学部長
委 員	花木 啓祐	東洋大学情報連携学部教授、東京大学名誉教授
委 員	納富 恵子	福岡教育大学教育学研究科教授
委 員	中山 景子	当会理事長
委 員	番匠 敏直	元(株)サワライズ社長
委 員	井口 正秀	元兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校教諭

#### (3) 事務局

人 員	備 考
3名	事務局長1名及び職員2名 (西日本地区については、関係会社の協力により対応)

## 2. 理事会・評議員会・選考委員会の開催

### (1) 理事会

開催年月日	主な決議事項	審議結果
令和2年5月28日 (決議の省略)	第1号議案 令和元年度事業報告承認の件 第2号議案 令和元年度計算書類等承認の件 第3号議案 令和2年度事業計画及び収支予算の改定の件 第4号議案 採用に関わる規程変更の件 第5号議案 定時評議員会の書面決議に関する件 報告事項 職務執行の状況	承認可決 承認可決 承認可決 承認可決 承認可決 承認
令和3年1月29日 (決議の省略)	第1号議案 「特定費用準備資金等取扱規則」制定承認の件 第2号議案 「特定資産取得・改良資金の保有」承認の件	承認可決 承認可決
令和3年3月3日	第1号議案 令和3年度事業計画及び収支予算の件 第2号議案 選考委員会改組の件 報告事項 職務執行の状況	承認可決 承認可決 承認

### (2) 評議員会

開催年月日	主な決議事項	審議結果
令和2年6月8日 (決議の省略)	第1号議案 令和元年度事業報告承認の件 第2号議案 令和元年度計算書類等承認の件 報告事項1 令和2年3月6日理事会決議事項 報告事項2 令和2年5月28日理事会決議事項 報告事項3 事業の進捗状況	承認可決 承認可決 承認 承認 承認

### (3) 奨学生選考委員会

開催年月日	主な決議事項	審議結果
令和2年7月15日 (決議の省略)	議案 令和2年度奨学生の採用承認の件	承認可決
令和2年12月8日 (決議の省略)	議案 令和3年度予約大学院奨学生の採用承認の件	承認可決

## 3. 行政官庁への申請・届出・提出に関する事項

申請年月日	届出先	届出事項等
令和2年5月13日	文部科学省	「特定の学資としての貸付に係る消費貸借契約書の印紙税の非課税措置」実績報告の提出
令和2年6月26日	内閣府(公益認定等委員会)	事業報告等の提出
令和3年2月25日	大阪市	寄附金税額控除に係る寄附金額等報告書の提出
令和3年3月30日	内閣府(公益認定等委員会)	事業計画等の提出

## VI. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」については下記のとおりです。

### 1. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援について

新型コロナウイルス感染症拡大による生計維持の対策として当会奨学生に対して6月及び7月に下記の支援を行いました。

#### (1) 特別支援金の支給(返済不要)

対象者： 151名(令和2年度に在籍する奨学生)

※辞退者1名含む

支給総額： 7,550,000円(50,000円/人)

#### (2) 臨時貸与奨学金

学生生活の維持が困難で緊急の支援を希望する者に対して、通常とは別枠での臨時貸与(無利息)を行いました。(上限30万円/人)

希望者： 5名(令和2年度に在籍する奨学生)

貸与総額： 1,350,000円

返還方法： 原則として、卒業後5年以内に返還

### 2. 特定費用準備資金保有について

#### (1) 「特定費用準備資金等取扱規則」の制定

将来の特定の活動を実施するために特別に支出する費用、及び公益目的事業を行うために必要な財産の取得又は改良に充てるために保有する資金の取り扱いに関し必要な事項を定めた「特定費用準備資金等取扱規則」を制定しました。

#### (2) 「奨学金管理システム改修」の費用15.2百万円を保有しました。